

学校運営協議会

NPO

保護者

地域

関係機関

★授業研究⇒学力向上

ねらいの明確な授業

話し合い、高まり合う授業⇒言語活動

※国語科を軸として、培った資質・能力（読解力・表現力・言語活動）を、他教科・生活科・総合的な学習の時間で活かす。

情報活用能力の育成

読解力の育成

★生徒指導・健康教育

⇒自己指導能力の育成

「消極的な生徒指導」から「積極的な生徒指導」へ

「報・連・相」の徹底

気配り・目配り・思いやり

分かる喜びが感じられる授業創り

一人一人を大切にしたい学級経営

「心身の健全な成長」

- ・自己決定の場の提供・共感的な人間関係を育成
- ・自己存在感を感受できる配慮
- ・安全・安心な風土の醸成（生徒指導提要）

【学校教育目標】  
学びを活かし、  
未来を創る子どもの育成

【目指す子ども像】  
自ら学び続ける子  
共に学び認め合う子  
学びを活かす子

★人権教育⇒自分も人も大切にし、人権尊重を規範とした日常の行動がとれる子の育成

優しい心・正しく強い心を、  
言葉で表し、行動で示せる子

※人権としての教育

人権を通しての教育

人権についての教育

人権のための教育

今年度の重点～共に学び認め合う子～

互いの良さを認め合う・見方考え方を広げ深める・新しい学びを創る ⇒ 図書館活用，GIGAスクール構想

- ・自分で調べ、考え、まとめ、自分のことばで考えを説明できる子
- ・相手の考えや意見を認め合える子
- ・互いの違いを認め合い、学び合い、高め合える学級集団

「すすんで あ(挨拶) そ(掃除) べ(勉強) き(きまりを守る)」

学力向上最優先課題，「学力保障なくして子どもの人権尊重はない」という認識の下，「自ら学ぶ力」、「自ら律する力」を育む。⇒学習意欲を高める授業を通して自ら学びに向かう力の育成・毎日の家庭学習により主体的な学びにつながる自学自主の習慣化・自他を大切にする態度の育成・公共の精神に基づく態度の育成

目指す教職員像～高い人権感覚をもち、子どもに力をつける教職員～

○授業を大切に、授業で勝負する教師 ○学校課題に一致団結して取り組む教職員

○気配り、目配り、思いやりを大切に、子どもに寄り添える教職員 ○子どもと共に汗（共感）できる教職員

「資質・能力の三つの柱を偏りなく育成すること」

- (1)「何を理解しているか、何ができるか」：知識及び技能
- (2)「理解していること・できることをどう使うか」：思考力，判断力，表現力等
- (3)「どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか」：学びに向かう力，人間性等

生きる力を育む・・・確かな学力 豊かな心 健やかな体を育む調和のとれた教育活動

教育基本法 学校教育法 学習指導要領 京都市学校教育の重点